



プロジェクト名称

すみだの`楽`づくりプロジェクト

プロジェクト活動概要

下町情緒あふれる墨田区は、路地文化が今なお残る貴重なものである一方、老朽化した木造建築物が密に建ち並び災害の危険性が高い地域も存在します。私たちは「防災」という地域の共通課題をきっかけにすみだのまちの魅力を守りながら、福祉・医療、地域住民、商店街など多くの人と連携し、様々なつながりをつくる学生らしいまちづくりを行っていきます。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

① 活動終了時点での協力団体を 10 以上とし、つながりの構築の指標とします。

活動開始時 5 団体であった協力団体は、10 月時点で 13 団体、12 月時点で 16 団体、現在は 18 団体に増えました。「つながりをつくる」という今年度の目標は達成しつつあるといえます。

② 地域イベントの参加者にアンケートを行い、地域の防災意識、まちづくり意識の向上度を全体参加者の 80%以上とします。

これまで行った地域防災イベントで参加者 76 名に対してアンケートを行った結果、地域の防災意識、まちづくり意識の向上度は 99%でした。地域の防災意識、まちづくり意識は徐々に向上しているといえます。今後も地域の防災意識、まちづくり意識向上を図る地域イベントを継続的に行っていきます。

③ NPO と企業と連携した防災ものづくりを行い、試作品を作成し、新たなビジネスモデルの基盤をつくります。

現在、普段持ち運ぶことができる防災グッズをコンセプトに NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊と地元企業とともに協議を行っています。第一弾、第二弾共に防災 MAP を使ったものづくりで現在企画構想中です。また、それぞれイベントなどに出展し、商品化を模索しています。

活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2017 年 1 月 1 日 ~ 3 月 31 日

■ 1、2 月 カエルキャラバンプログラム WS 【写真 1】

⇒ 学プロ×一寺言問を防災のまちにする会×NPO プラス・アーツ×東京工業大学×工学院他

2 月 26 日に行われた「イザ！カエルキャラバン！^{※1} 2016in 寺島」の打ち合わせ協力団体とともにしました。1、2 月は一寺言問を防災のまちにする会をはじめとする方々とワークショップを行い、防災訓練プログラムについて詳しい内容を考えました。

※1 カエルキャラバン…「防災訓練」と「おもちゃの交換会」を MIX させたイベント。子供たちが楽しみながら防災を学ぶことができます。(URL: <http://kaeru-caravan.jp/>)



■ 2月9日(木) 韓国女子大生との曳舟駅周辺まちあるき【写真2】

⇒ 学プロ

10月8日(土)に実施した「防災遠足」を SNS 上で知った韓国の誠信女子大学 10 名(学生 9 名、教授 1 名)が日本に訪問し、曳舟駅周辺をまちあるきし、案内をしました。災害上危険なエリアや商店街、地域の歴史・文化などを共に学びながらまちあるきをしました。

■ 2月15日(水) 見守り DAY(高齢者防災講座)【写真3】

⇒ 学生×むこうじま高齢者みまもり相談室×NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊

ふじのきさん家にて高齢者向けの防災講座「みまもり DAY」が開催された。初めに墨田区防災まちづくり課の田中さんと地域の建設会社の大日向さんから木造住宅の耐火・耐震化の重要性についての説明がありました。その後、学生が糸魚川市で発生した大火について写真を交えながら解説し、「深夜に避難勧告が発表された場合、高齢の家族を連れて避難するか」というテーマで防災クロスロードを行いました。

■ 2月26日(日) イザ!カエルキャラバン! 2016in 寺島【写真4, 5, 6】

⇒ 学プロ×一寺言問を防災のまちにする会×NPO プラス・アーツ×東京工業大学×工学院他

2月26日に「イザ!カエルキャラバン! 2016in 寺島」内の企画の1つとして「防災ファッションショー」と「足湯でクイズ」を墨田区第一寺島小学校で実施しました。「防災ファッションショー」は避難時に身の回りの新聞紙やビニール袋を使って服を作り暖を取る方法を学んでもらうことを目的としており、子供たちに興味を持ってもらうために服に廃材やテープを貼り付けてデコレーションしてもらい、ファッションショーの形式にして楽しく防災を学ぶきっかけとした。防災ファッションショーはふじのきさん家^{※2}と協力しプログラムを行いました。「足湯でクイズ」では避難時に体温を保つ手段として子どもたちに足湯やビニール袋の中に丸めた新聞紙を詰めたものに足を入れて暖をとる体験をしてもらいました。体験をしている間、体温を調整する際のポイントについてのクイズを出題した。また、どちらのプログラムも体感温度だけでなくサーモグラフィーで着用前後の温度を測定し、温度変化を可視化して体感しました。

参加した子供たちは約 30 人で楽しんで防災について学んでくれました。今後は墨田区以外の地域の子供向けの防災教育イベントにも参加することを検討しています。

※1 墨田区で安全・安心に住み続けていくための地域の拠点として平成 25 年 3 月末オープン。木造密集市街地エリアの地域住民の絆を高め、地域防災力の向上を目指す。NPO 法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊が地域と共に運営している。(URL: <http://fujinokisanchi.com/>)

■ 防災ものづくり

⇒ 学プロ×NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊

現在、普段持ち運ぶことができる防災グッズをコンセプトに NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊と地元企業とともに協議を行っています。第一弾、第二弾共に防災 MAP を使ったものづくりで現在企画構想中です。また、それぞれイベントなどに出席し、商品化を模索しています。



【写真1 カエルキャラバンWS】



【写真2 韓国女子大生徒のまち歩き】



【写真3 見守りDAY】



【写真4 防災ファッションショー】



【写真5 参加した子供のサーモグラフィー】



【写真6 足湯でクイズ】

今後の活動計画、目標、意気込み

■ 4月2日(日) 地域交流イベントたまかわマルシェ & 防災相談会

⇒ 学生×道の駅たまかわ×NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊×早稲田大学

福島県玉川村の道の駅たまかわと NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊が企画する地域交流イベントたまかわマルシェ(野菜販売会)の手伝いと並行して、防災相談会を行います。今回は12月に発生した糸魚川大火についてセミナーを行い、ディスカッションを行います。

■ 防災ものづくりの検討 & 試作品作成

みなさんは防災グッズを普段持ち歩いていますか？多くの人は防災グッズを普段持ち歩いていないと思います。そこで普段も持ち運べて非常時にも役立つ防災グッズを地元企業や NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊などと開発しています。第一弾は防災MAPをプリントしたトートバッグ、「うちのひなんトート」です。現在イベント出展などをして、商品化に向けて模索中です。

■ 子どもたちに興味をもってもらえる防災学習プログラムづくり

小さなころから防災について学ぶことは身を守るうえで重要です。一方的に防災の知識を教えるのではなく、子供たちが自分で考え楽しみながら防災の知識を学ぶことができるようなプログラムを現在検討中です。

今後も多くの協力団体とともに、「防災」というテーマでまちづくりを行っていきます。